

株式会社ナガワ

決算説明資料

— 2025年3月期 第1四半期 —

2025年3月期 第1四半期
連結決算概況

連結決算概況－B/S

	FY2023 Q1	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY	
	22年4-6月	23年4-6月	24年4-6月	増減	増減率
流動資産	22,181	20,877	18,285	△2,592	△12.4%
貸与資産	10,015	11,892	13,858	1,966	16.5%
固定資産	32,721	38,192	47,172	8,979	23.5%
総資産	54,902	59,070	65,457	6,386	10.8%
流動負債	4,254	4,597	4,282	△314	△6.8%
純資産	50,562	54,130	59,380	5,249	9.7%
自己資本比率 (%)	92.1%	91.6%	90.7%	△0.9pt	-
1株当たり純資産 (円)	3,216.32	3,442.98	3,779.43	336.45	9.8%

※単位：百万円

連結決算概況－P/L

景気は回復基調にあるものの、実質賃金のマイナスは過去最長となり、定額減税の実施による消費喚起を通じた経済効果は限定的。電気・ガス等のエネルギーコスト増もあいまって、個人消費は停滞を脱するに至っていません。

また、世界経済においても長引くウクライナ情勢にくわえ、イスラエル・パレスチナ紛争の激化による社会情勢の不安もあり、不透明な状況が続いております。

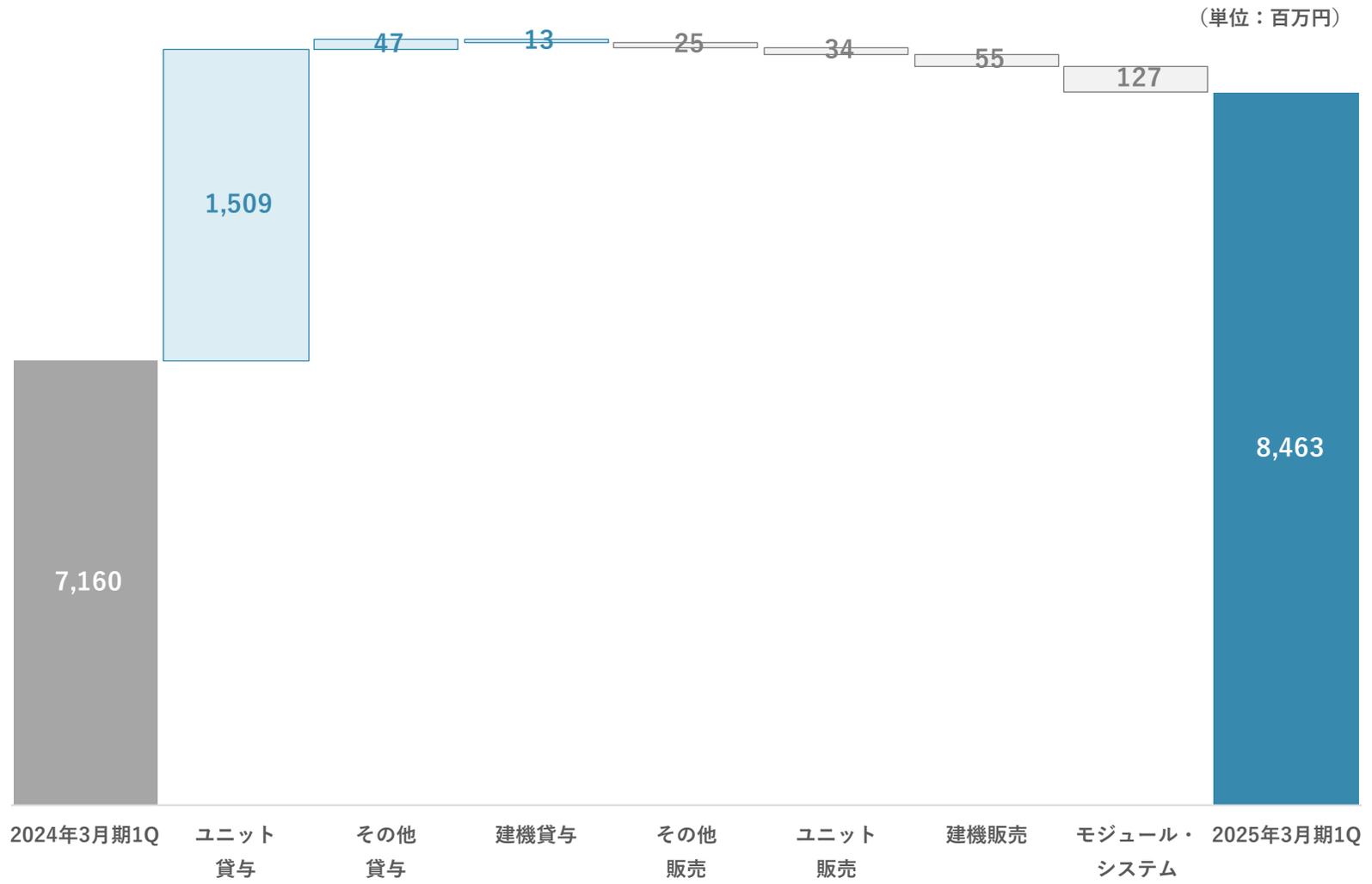
この様な環境のもと、展示場の拡充や新規開設に対する投資の継続、全自動鉄骨溶接ロボットを導入した製造拠点の竣工による販売・製造の強化に注力。能登半島地震における、応急仮設住宅の供給にも尽力しました。

	FY2023 Q1	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY	
	22年4-6月	23年4-6月	24年4-6月	増減	増減率
売上高	6,975	7,160	8,463	1,302	18.2%
売上総利益	2,974	2,984	3,217	232	7.8%
営業利益	931	785	901	116	14.8%
経常利益	1,074	988	1,160	172	17.5%
当期純利益 (※)	739	662	770	107	16.3%

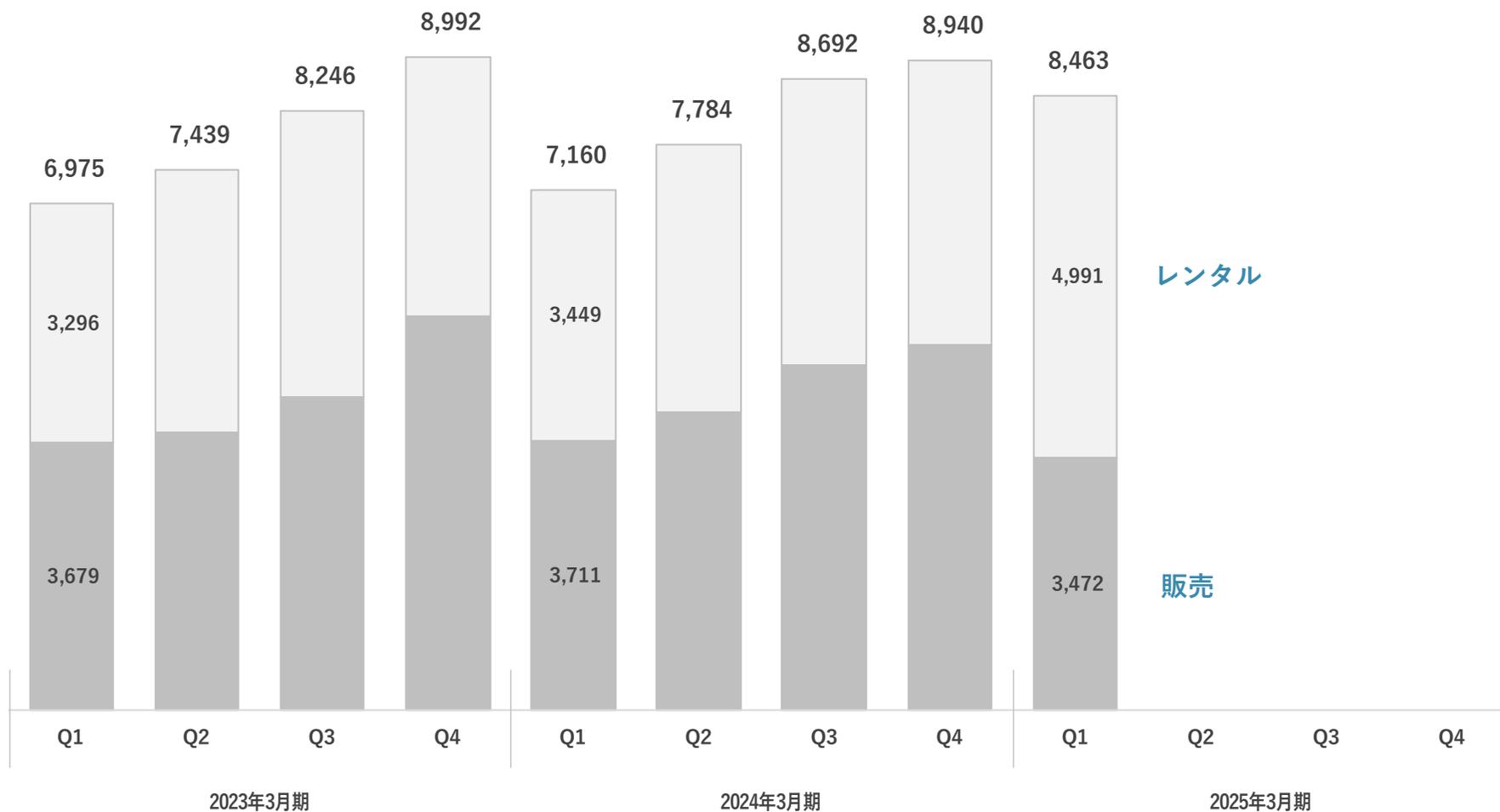
※単位：百万円

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

連結決算概況－要素別売上高増減



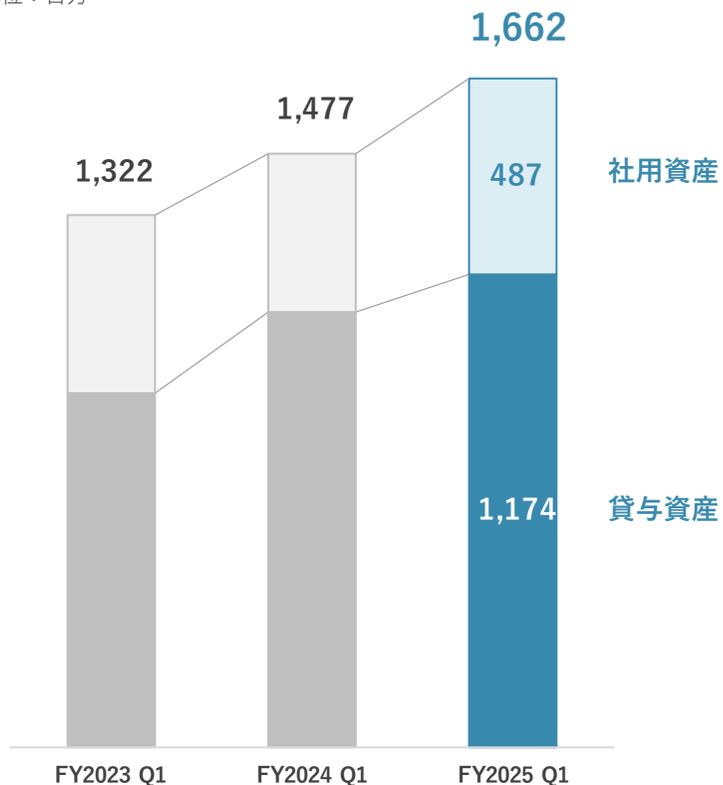
連結決算概況－四半期ごとの売上高推移



設備投資額と減価償却額

設備投資額推移

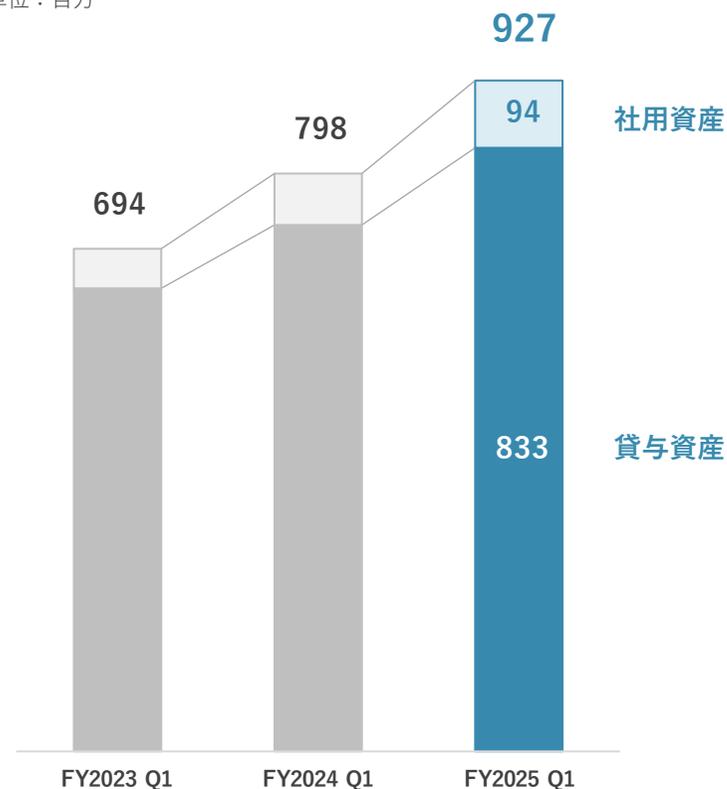
単位：百万



製造原価の高騰はありつつも、引き続きシェア拡大を目的とした貸与資産への積極的な投資を継続しました。

減価償却額推移

単位：百万



貸与資産の取得増加により、減価償却費もあわせて増額。社用資産については、結城工場の全自動溶接ロボット導入による減価償却費のため微増。

2025年3月期 第1四半期

連結決算概況－セグメント別

セグメント別

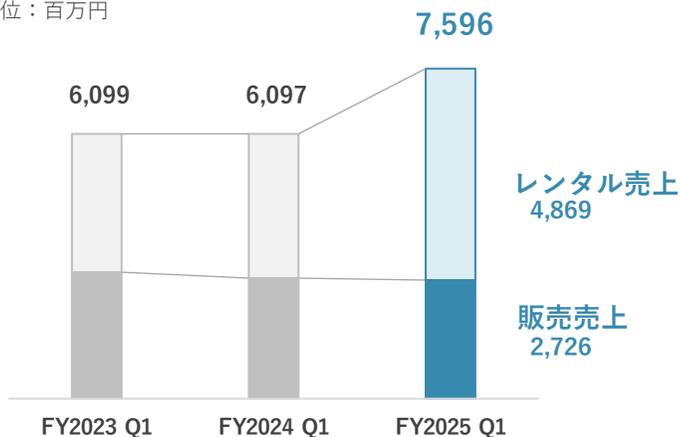
	FY2023 Q1	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY	
	22年4-6月	23年4-6月	24年4-6月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	6,975	7,160	8,463	1,302	18.2%
ユニットハウス事業	6,099	6,097	7,596	1,499	24.6%
モジュール・システム建築事業	716	817	690	△126	△15.5%
建設機械レンタル事業	159	246	176	△69	△28.3%
営業利益合計	931	785	901	116	14.8%
ユニットハウス事業	897	737	879	142	19.3%
モジュール・システム建築事業	65	88	81	△6	△7.6%
建設機械レンタル事業	△17	△27	△47	△19	-

ユニットハウス事業

販売においては売上・棟数ともに前年並みとなっており、新店出店効果は第2四半期以降となる見込み。
レンタル稼働の好調と、能登半島地震における応急仮設住宅の売上寄与を受け、レンタル売上は大幅に増加したものの、減価償却費増加にともない粗利益率は減少となった。

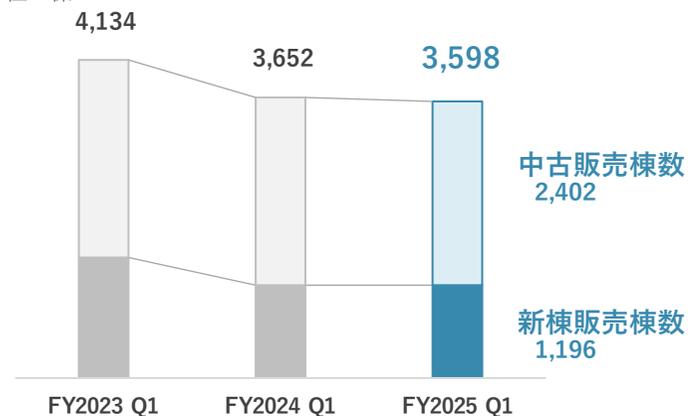
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



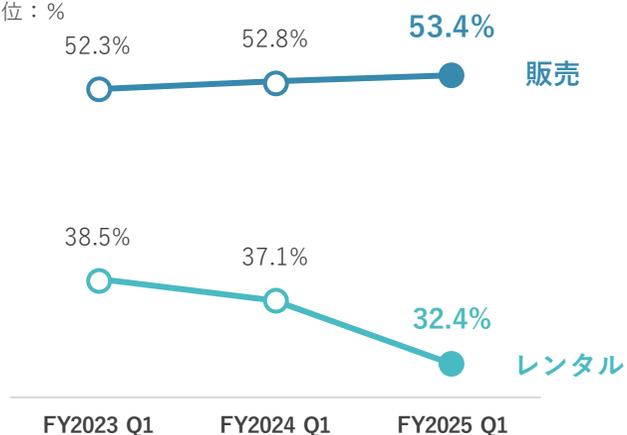
販売棟数

単位：棟



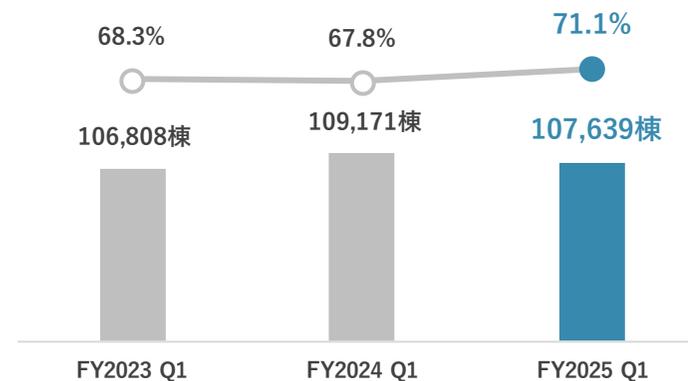
売上総利益率

単位：%



保有棟数と稼働率

単位：棟/%



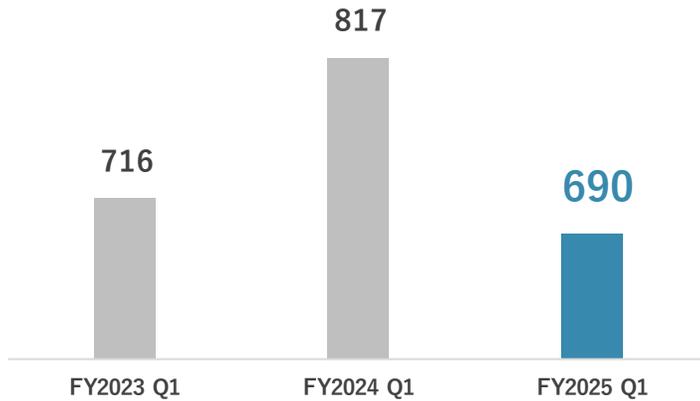
モジュール・システム建築事業



モジュール・システム建築事業は工期の遅れから完工がずれ込み、第1四半期は減収となっている。第2四半期以降は、大型物件の受注を複数見込んでいる。

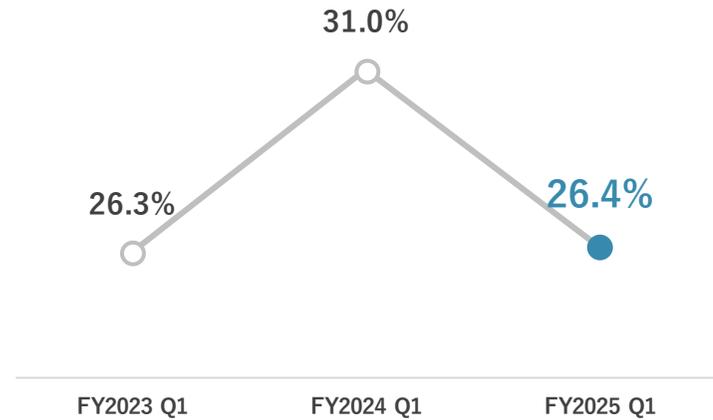
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



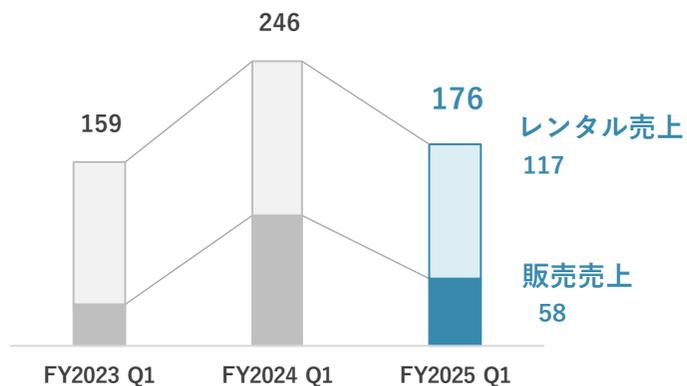
建設機械レンタル事業



北海道地区では公共事業の発注遅れから、レンタル売上は減収。売上への寄与は第2四半期以降になる見込み。
現場用敷鉄板の一括償却により、レンタル粗利益は一時的な欠損を計上した。
販売売上については、施策的に資産の売却を抑制した結果、減少となっている。

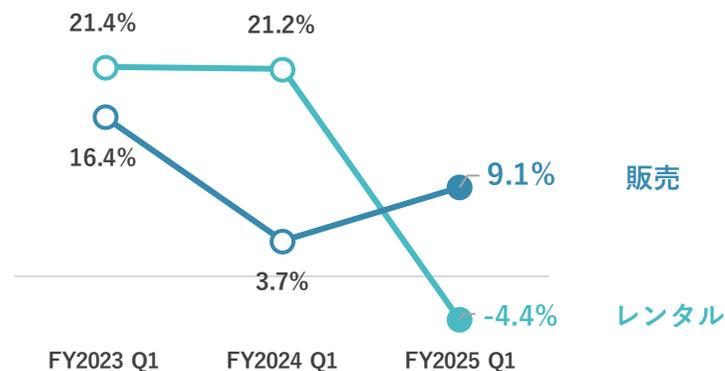
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



2025年3月期
業績見通し

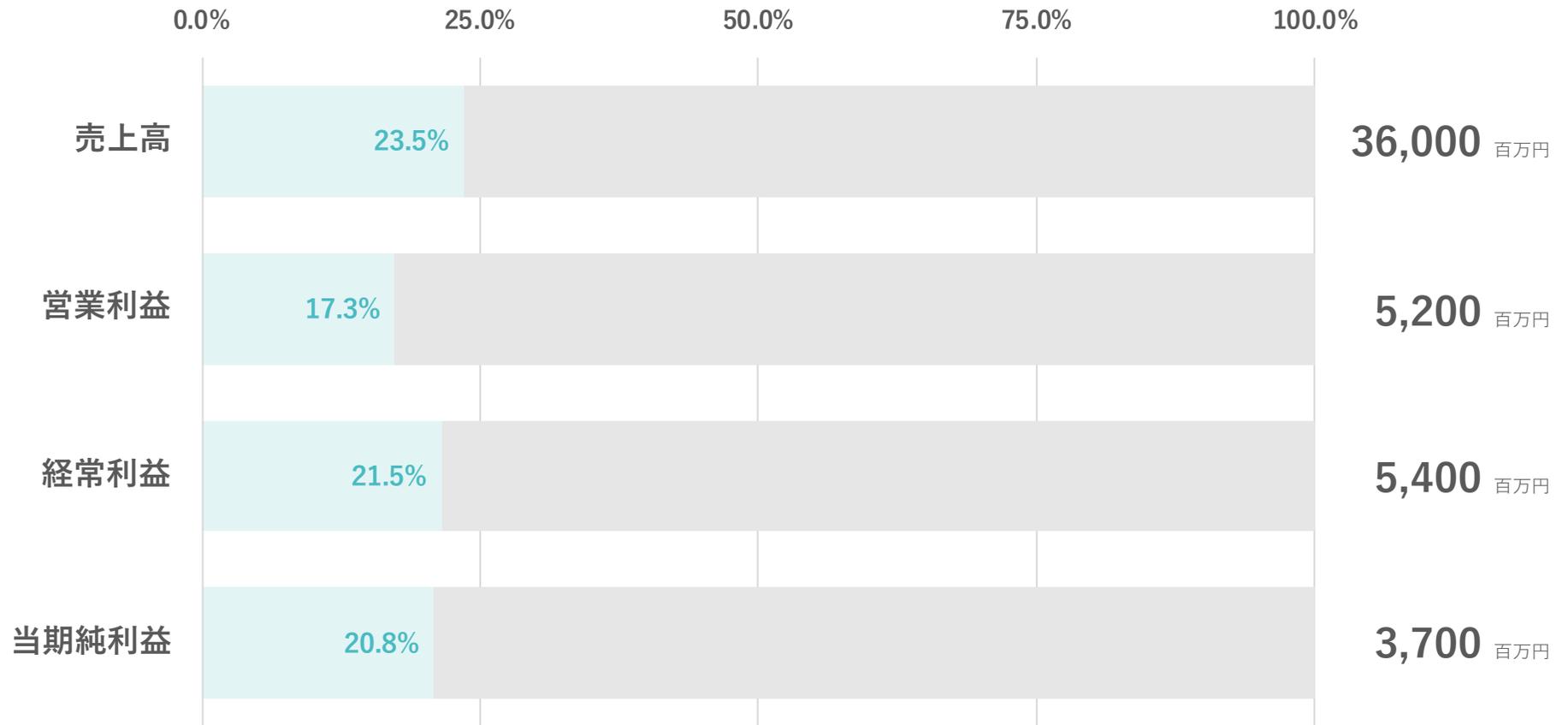
業績見通し

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	22年4-3月	23年4-3月	24年4-3月	増減	増減率
売上高	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
営業利益	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
経常利益	4,674	4,643	5,400	757	16.3%
当期純利益 (※)	3,130	3,119	3,700	581	18.6%
総資産	58,806	66,876	63,000	△3,876	△5.8%
純資産	53,480	59,725	58,000	△1,725	△2.9%
自己資本比率 (%)	90.9	89.3	92.0	2.7pt	-
1株当たり純資産	3,401.25	3,800.91	3,800.00	△0.91	△0.0%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

※単位：百万円

業績見通し - 進捗



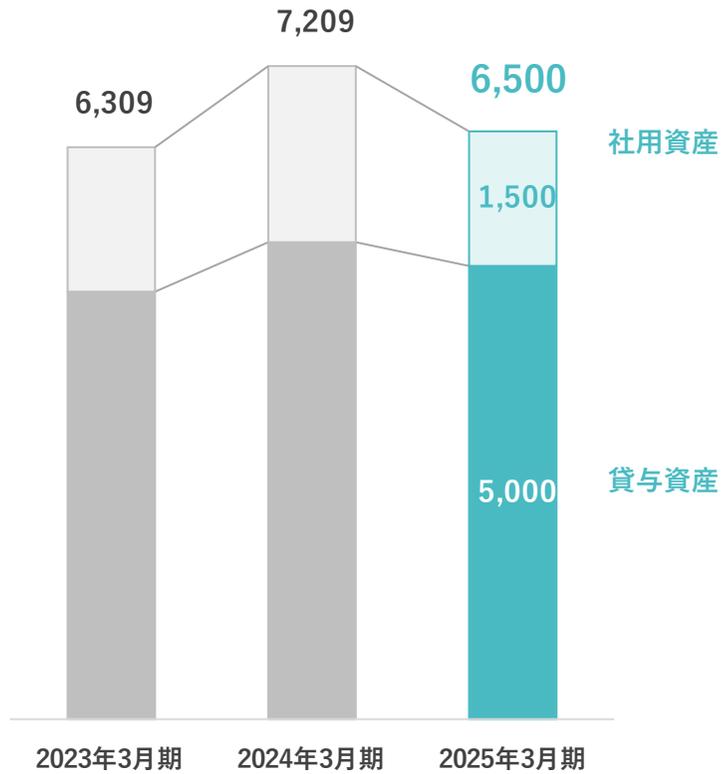
業績見通しーセグメント別

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	22年4-3月	23年4-3月	24年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
ユニットハウス事業	26,332	26,470	26,900	430	1.6%
モジュール・システム建築事業	4,196	4,925	8,000	3,075	62.4%
建設機械レンタル事業	1,123	1,181	1,100	△81	△6.9%
営業利益合計	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
ユニットハウス事業	3,907	3,516	4,670	1,154	32.8%
モジュール・システム建築事業	366	729	500	△229	△31.4%
建設機械レンタル事業	84	40	30	△10	△25.0%
全社消去	△50	△45	-	-	-

設備投資額と減価償却額

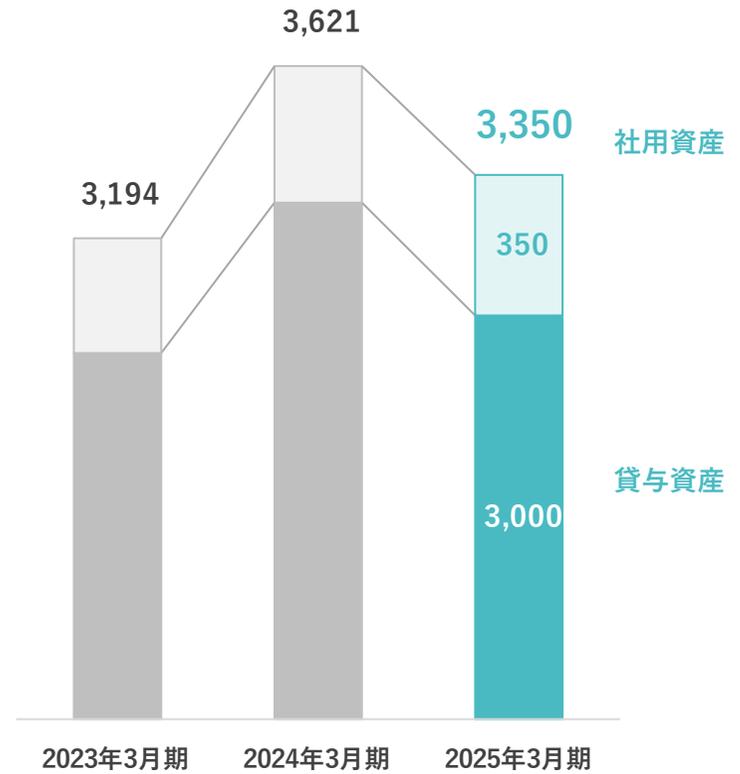
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー
<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

